



○ 秋色の森に入ると、空気がひ〜んやり、心地よいのです。少し寒いけど、

木の実や草の種も沢山あって、小鳥たちも嬉しいかな。 aiko.

都市公園で自然観察会 県立春日公園での自然観察会(166回)



日時：2025年11月15日(土)10時から12時まで

集合場所：公園の中央付近にある自然あそび館

☎ アサギマダラ♂(春日公園) 2025年11/4 撮影:田字草

「問い合わせ先」 担当: 田村耕作 Tel 090-8220-6160(田村)

参加費 会員200円 一般 300円 生きものに関心のある方ならどなたでも

注意 各団体とも、様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

問合せ先 090-8220-6160（田村耕作）

11月16日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
担当：重松尚紀ほか

11月23日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時 間 9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場駐車場
担当：高原和幸ほか

12月7日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
担当：宇都順吉ほか

12月13日（土）
大濠公園（福岡市）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
担当：持永俊行ほか

12月9日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
担当：山本廣子ほか

12月2日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
担当：田村耕作ほか

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

12月6日（第1土曜日）
集 合：九州歴史資料館
第一駐車場
時 間：9:30～11:30

問合せ：092-920-3072
コロナ対策：ブログにて確認
ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

検索



ガデ賑わう夜のフジバカマ 三国・松永

福岡植物友の会

詳細はお問合せください。
中小路 香（092-864-7585）
参加は有料 要予約

日本野鳥の会 筑後支部

11月23日（日）
久留米城址～筑後川（久留米市）
時 間：9:00～12:00
集 合：筑後川河川敷駐車場
問合せ：090-4357-3043（溝田泰博）

久留米の自然を守る会

詳細はお問合せください。
問合せ：0942-43-7959（河内俊英）



オオアイトトンボそろそろ産卵の時期
三国 松永

和白干潟を守る会

11月22日（土）
定例会議
時 間：12:00～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

11月22日（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：080-1761-3924（今林）



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

2025年9～10月
私のデジカメ日誌より

9月1日(旧暦閏7月10日)～10月31日(旧暦9月11日)までの
デジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)

本のむし



9/12(旧7/21)筑紫野市天拝坂
シラヒゲハエトリガがガを襲って食ら
いついた。ガはシマメイガだろう
か。1cmほどの弱肉強食の世界



9/18(旧7/27)筑紫野市天拝坂
モンキアゲハがムクゲの花蜜を吸
っている。名に紋黄と付くが、あま
り黄色を感じたことはない



9/25(旧8/4)筑紫野市天拝坂
花穂の毛が赤紫のエンコログサ。
よく見ると細く薄っぺらな昆虫が
いる。クモヘリカメムシのようだ。



9/30(旧8/9)筑紫野市天拝公園
ツクサが咲いている。ホソヒラ
タアブがツクサの雄蕊に顔を
近づけ花粉を舐めてる？



9/30(旧8/9)筑紫野市天拝公園
朽木から生えていたキノコ。カサ
の裏のヒダに蓋のようなものがある。
初めて見た。これは毒？



9/30(旧8/9)筑紫野市天拝公園
ヒガンバナは何か懐かしい。幼い
日にしっかり馴染んでいたのだろ
う。ここは田の畔ではないけど。



10/6(旧8/15)筑紫野市天拝坂
旧暦の八月十五日、中秋の名月
である。月齢でいうと明日が満
月。伝統は杓子定規ではない。



10/10(旧8/19)筑紫野市天拝坂
午前中、ミツバアケビの葉裏、ほ
の暗い中に蝶が休んでいた。感
度を上げ、観るとキチョウだった。



10/19(旧8/28)筑紫野市天拝坂
オオヤマレンゲの花が咲いた。
本来5月の連休頃に咲くが、気象
条件が同じになったか戻り花。



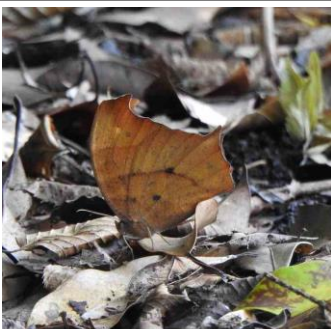
10/20(旧8/29)筑紫野市天拝坂
はじめマユタテアカネのメスと思っ
たが、コノシメトンボにも見える。
胸模様が目ににくい？？になる。



10/20(旧8/29)筑紫野市天拝坂
このところモズの高鳴きが聞こえ
ていた。この日アメリカカワウのてっ
ぺんにいた。やっと秋になった。



10/24(旧9/4)筑紫野市天拝坂
夕方6時頃、標高120m程の倉庫
の屋上にカラスが集まってきた。
帰郷前集合だろう。



10/26(旧9/6)筑紫野市天拝坂
クロコノマチョウ♀秋型である。
昼頃だが、狐谷池の林縁の薄暗
い中にいた。



10/26(旧9/6)筑紫野市天拝坂
美しいハエと思ったらオオハナア
ブのようだ。複眼の蒼色、腰の黄
が目立つ。珍種ではなく普通種。



10/30(旧9/10)筑紫野市天拝坂
妻は2,3日前から声を聴いたと
言っていた。私はこの日ジョウビタ
キミを初認した。やっと冬鳥だ。



10/30(旧9/10)筑紫野市天拝坂
ホトギスの花が咲いた。日本固
有種。外花被片(幅広)と内花被片
(幅狭)が修猷の六光星のようだ。

春日公園自然観察会 令和7年10月18日(土)【参加者】4人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池を巡り～自然風庭園を経て自然あそび館にもどった。

観察内容 曇り一時雨、23℃で開始。終了時は27℃でした。

いろいろな生きものを観察した中で、主な種類を示します。

植物 ヒマラヤスギの実、ウリクサ、シバザクラの花、アマナ、カツラ（落ち葉の香り）、サルスベリの実、イチヨウの実（ギンナン）、ヌカキビ、メタセコイア、ラクウショウ、ヒメユズリハ、シダレヤナギ、イヌマキの実、クヌギ、コナラ、ウバメガシ、アラカシ、スダジイ、マテバシイ。

地衣類 ロウソクゴケ。

昆虫 ヤマトシジミ、カワラバッタ、オンブバッタ、ハネナガイナゴ(？)、ツマグロヒョウモン、アカタテハ、イチモンジセセリ、ウラギンシジミ、ベニトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、マユタテアカネ、コノシメトンボ、ギンヤンマ、ウスバキトンボ。

野鳥 モズ、スズメ、メジロ、コゲラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバト、シジュウカラ、ムクドリ、ハクセキレイ、カワラヒワ、アオサギ、コサギ、アヒル、カワラバト。

感想(参加者、その場の声)

- ・久しぶりの参加で、百日紅の花から実になった姿を確認した。
- ・ヒマラヤスギの実の変化を観察できた。
- ・色々なドングリの帽子(殻斗)、クヌギ、スダジイ、マテバシイ、アラカシ、ウバメガシなどを確認した。
- ・歩いた観察路で、虫たちを探したが、相対的ではあるが、個体数、種類数共に大変少ないと感じた。
- ・この時期のソメイヨシノ、赤や黄色の紅葉が目立たなかった。特に赤く染まる葉がほとんどなかった。気温が関係しているのか。いつもの秋らしさが感じられない。

観察開始

ヒマラヤスギの実

種が飛び散り、残った芯



まだ咲いていたシバザクラ



ウバメガシのドングリと殻斗



ツマグロヒョウモン♂



コノシメトンボ♂



鮮やかな色のベニトンボ♂ イヌマキの実、甘くなっていた



撮影：田村耕作

以上

会員からの投稿 (1) 岩井結友美

「私たちが感じる季節の乱れはなぜ？」 ～植物に学ぶ、ブレない時間の真実～

#自然の体内時計

自然観察会で、私はふと疑問に思いました。「植物はどうして、こんなにもブレずに生きているのだろうか？」 気温が大きく変わる中でも、彼らは迷うことなく紅葉し、実をつけます。その秘密を調べてみました！

私たち人間は、「夏が長いな」と感じるように、エアコンや服装で調整できる「体感温度(気温)」の変化で季節を感じています。だから、気温が不安定だと「季節が狂った！」と感じてしまうのですね。

🌿 植物は「気温」ではなく「日光」を見ている

でも、自然界の植物たちは違います。彼らは私たちの体感温度のように惑わされません。

植物が最も頼りにしているのは、「日光が当たる時間の長さ(日長)」です。

これは光周性(こうしゅうせい)と呼ばれ、葉の中にある体内時計(フィトクロム)で精密に計測されています。地球と太陽の運行で決まる日光の長さは、ブレることがありません。

だから、気温が一時的に上がっても、日光の時間が短くなり始めれば、植物は迷わず「秋だ、冬の準備だ」と判断し、紅葉や落葉の準備を始めます。

🕒 人生も自然のリズムに重ねてこの植物の姿を見ていると、深い気づきがあります。

私たちの人生も、外部の出来事や流行(=気温の変動)に振り回されがちです。しかし、植物のように「自分の核となるリズム(=日光時間)」をしっかり持っていれば、周囲のブレに惑わされることなく、静かに、確実に成長できるのではないのでしょうか。

自然にはそのものが持つ力と、途切れることのない知恵が未来をつくります。

季節の確かな流れを教えてくれる植物の知恵に、改めて感謝です🌟

さて、紅葉の季節です。一年を通じた確かな秋を感じてみたいと思っています。

春と秋に現れるホタルガ

#自然観察会 #体内時計 #光周性 #季節の乱れ #ブレない心 #植物の知恵 #日光時間 #ライフスタイル #自然の繋がり



秋・クズの花



会員からの投稿 (2) 橋川夫妻の我が家の自然観察日記 —メスグロヒョウモン—

筑紫野市に住んで40年近くになります。普通種のツマグロヒョウモンは幼虫、成虫とも庭でよく見るのですが、これまで見なかったメスグロヒョウモンを4~5年前から見かけるようになりました。増えているのでしょうか。10月のある日、庭にメスが2頭も来ていました。木立の中をふわふわとゆっくり飛んでいます。翅の色が暗いので時々見失います。そのうちの1頭が庭木の約2メートルの高さの幹に尾端をすりつける産卵行動をしていました。食草のスマレが近くにあることを知っているのでしょうか。

・写真1 プラケースの中で産んだ卵(2025.10.14)

・写真2 パンジーを食べる幼虫(2024.5.4)

・写真3 羽化したてのオス(2021.5.27)

・写真4 メス(2025.10.10)

写真1

写真2

写真3

写真4



会員からの投稿 (3) 秋山芽生子 博多湾の東部を中心に活動中

干潟に下りて、芦原の中で、そおーと息をころしじーつとしているとメダイとドリやホウロクシギなどが集まってきました。



遠方に立花山、そばにチュシャクシギ、

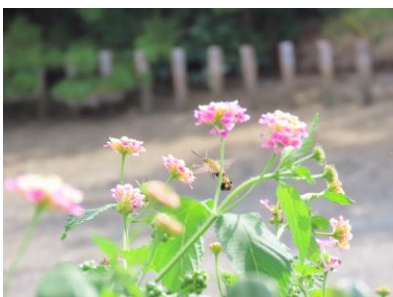
ホウロクシギがカニを食べる



メダイチドリ、ゴカイを捕獲

クロツラヘラサギ食べもの探し

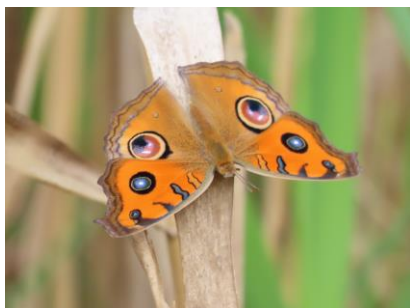
ミヤコドリ休息中



アシハラガニ

オオスカシバ飛翔中

ギンヤンマ産卵中



タテハモドキ



マイコアカネ♂



カワウの大群とクロツラヘラサギ2羽

会員からの投稿（4） 秋山芽生子 海の中道海浜公園で見かけた

タイワンウチワヤンマがショウジョウトンボを捕獲、

波打ち際で食べもの探し トウネンの群れ



トウネン 休息中



お知らせ <九州自然協議会かごしま>

日程 2025年11月29日（土）14:00 集合 11月30日（日）12:00 解散

集合場所 : 丸岡公園内 交流センター「丸岡さくら館」 鹿児島県霧島市横川町上ノ3201

宿泊 丸岡公園内 バンガロー「こもれびの里」 費用 5000 円

参加申し込み 9月末 早めにお申し込みください。（11月27日まで申し込み、キャンセル可能です）

担当・申込先 河井さん bannri@krd.biglobe.ne.jp

会員からの投稿 (5) 田村耕作 秋らしさと冬の予感

10月中旬ともなると、秋を感じる鳥たちの姿や鳴き声に楽しさを感じます。カモ類をはじめ、山野の鳥に、自分の住まいの近くで出会えると楽しいものです。10/24 曲淵ダムで100羽近いオシドリ、1羽のオオバン、地鳴きするウグイス、上空には猛禽類のノスリに会いました。11月に入って住まいの傍で、ツグミ、ジョウビタキ、コガモ、ハシビロガモにであった。大濠公園では、カンムリカイツブリ、ホシハジロ、ヒドリガモ、オカヨシガモ、ユリカモメ、セグロカモメ等を見かけた。1年の中で、たくさんの野鳥に出合える楽しい季節到来です。

オシドリ (曲淵ダム)



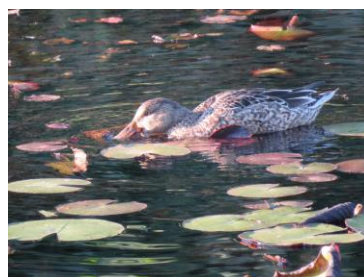
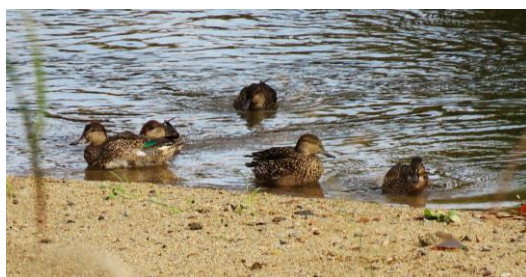
ノスリ (曲淵ダム上空) ジョウビタキ (城南区)



ツグミ (城南区)

コガモ (樋井川)

ハシビロガモ (茶山中央公園)



会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2025年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会

次回の定例会は、**令和7年12月12日(金)午後2時**より事務局で行います。令和7年12月号の原稿は、12/9(火)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2025年10月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。

ほとんど手入れらしい手入れしていない我が家の庭に勝手に生えてきたナンキンハゼがあります。その木に、ミツバアケビがつるのをのびし、実をつけているのに気づかされた。

この地に移っておよそ30年余り、花を見かけたことはありましたが、実を見るのは、はじめて。まさかの発見でした。日頃、真剣に見ていなかったことを反省。



ミツバアケビ 11/8 撮影: 田字草